

2006 年度

科目名 総合演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教福2回生	担当者 大槻美智子
授業テーマ 子どもに教える「言葉の使い分け」		
授業の概要と目標 「言葉の使い分けに敏感な」小・中学生を育てるためのプログラムを作成することを目指す。		
評価方法 積極的な取り組み態度、発表内容、出席、提出物などを総合的に判断する。		
テキスト 特になし	著者	出版社
参考書 適宜紹介する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 講義の目的・方法などの説明 《現状把握》 2 小・中学校の教科書から、ことばの意味に関する記述がどれくらい、どのようなものがあるかを調査する。 3 2を踏まえて、グループごとに発表する。 《語義研究と指導①》 4 語義記述の方法を解説する 5 1を子どもに教えるとしたらどんな方法で行うかをグループで考える。 6 2に基づき発表（グループごと）し、批評しあう。 7 〃 《語義研究と指導②》 夏休み中に語義研究を一つしておく 8 各人の発表（一時間に三人／語義研究） 9 〃 10 〃 11 〃 12 各人の発表（一時間に三人／指導案） 13 〃 14 〃 15 〃		